

目指すのはかかりつけの“ファミリーデンティスト” 大切な患者様の歯の健康を守る存在でありたい



横浜市の住宅街にある「横浜歯科クリニック」。白を基調としたスタイリッシュな内装に加えて、全国でも珍しく診察室が個室、そして土日も診療可能という患者の“通いやすさ”を重視したクリニックだ。本日は布川敏和氏が石川院長に経営方針などを伺った。

布川 白を基調としたお洒落な内装ですね。窓が大きく開放的で、これまでの歯科医院のイメージと少し違います。

石川 病院のイメージを払拭できるようなデザインにしたかったので、そう言っただけで嬉しいです。診察室はすべて個室で、こちらもなかなか好評です。

布川 石川院長はどういった経緯で「横浜歯科クリニック」を？

石川 歯学部を卒業後、2つの歯科医院で10年間の修業を積んだあと、独立・開業しました。当クリニックが大切にしているのは、いかに患者様と長く関わっていくかということ。患者様にとっては、治療のために通わずにすむのが一番でしょう。ですから私共としては、かかりつけ医、そして患者様ご一家の“ファミリーデンティスト”として、治療だけでなく歯の健康を守るための定期健診などを通して、常日頃から皆さんの歯を診ていきたいと考えております。

横浜歯科クリニック

神奈川県横浜市栄区桂台南 1-18-2

TEL 045-892-8318

URL: <http://www.yokohamadc.com/>

院長 石川 洋史

東京都荒川区出身。実家は自営業を営んでいたが、歯科医の道を選ぶ。大学を卒業後、2つの歯科医院に合計10年間勤め、勉強。その後、「横浜歯科クリニック」を開業した。



布川 それは、いいですね。自分や家族のことをよく知って下さっている歯科医に日頃から診ていただくと安心です。

石川 今は、歯科医院はコンビニよりも多くて主治医が定まらないことが問題となっています。そんな中でも当クリニックは、患者様のかかりつけ医という立ち位置を守っているのです。毎回、同じ歯科医が診てこそ気づけることがあり、患者様との信頼関係を築ける。そして信頼関係があつてこそ、治療はより成果が上がるものですからね。患者様とのコミュニケーションや分かりやすい説明で、一緒に治すスタンスが大切だと思います。

布川 歯科医院が溢れている今、患者様に選ばれる存在であるために、院長はどのような取り組みを？

石川 患者様が心地よく過ごせる内装にし、診療日や時間、求められるサービス内容などを突き詰めて、一貫して患者様の目線でクリニックづくりに努めてきま

した。当クリニックは日曜日にも診療を行っており、特に働いている方には仕事を休まずに通院できると喜んでいただいていますね。治療に関しては、生活スタイルなどで通院が難しい方についてはなるべく短期間で終わるようにするなど、ご本人の希望を考慮しています。

布川 なるほど。それは、通いやすい。今後についてはいかがでしょう。

石川 お年寄りですと、寝たきりになられるなど身体的に通院が辛い方もおられますから、近いうちに往診も始める予定です。そうして、お子様からお年寄りまで、あらゆる方々の歯の健康を守っていききたい。その一環として、「80歳になってもりんごを丸かじりする法則（仮題）」という小冊子を夏に完成させる予定でして。患者様に無料で配布するこの小冊子は、特にインプラント矯正や予防をお考えの方は必見ですよ。

(取材／2011年4月)



ゲスト 布川 敏和

「クリニックに入った時に、スタッフの皆さんが挨拶と笑顔で迎えて下さり、気持ちが良かったです。通うなら、やはり明るくて清潔感があり、何より患者に良心的な『横浜歯科クリニック』のような病院がいいですね！」

